

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原 所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1
TEL/ 0531-24-2345 HP/ http://www.tahara-tmo.com/

街歩ook原

街あるっく田原

第16号

●サーフィン～海から得るもの～

●滝頭公園見どころマップ

●三ぷく～夜の憩いの場は手打ちうどん～

『海から得るもの』

田原市サーフィン協会では子供たちへのスクール事業として、毎年3つのイベントを開催している。

一つ目は10年以上継続して実施している初心者スクール。これは夏休みに2回参加料一人500円で開催しており、田原市内の小学校3年生から高校生までを対象に、25メートル以上泳げることが条件となっている。サーフィン人口を増やすためにも、底辺の拡大が大切であり、子供たちに海を好きになってもらうために実施している。

10年以上続けていると、当時スクール生だった子供たちが、現在では教える側のスタッフとして活躍しているという。二つ目は赤羽根小学校のイベントとして、「ボディボードスクール」の協力をしている。小学校4年生から6年生までを対象に、親子（主に父親と子供）で参加する事



「ボディボードスクール」

休みの平日に開催し、安全面も含め毎年全面

協力している。

三つ目は「オーシャンラブ」。知的障害を持つ子供達にサーフィンを通じて「海の素晴らしさ」や「海の愛」「エネルギー」を感じてもらい、少しでも心がハッピーになってもらえたら、という志向で始まった活動だ。これは湘南で始まったイベントで、全国に広めた



いという思いを受け、4年前に田原市で全国に先駆け実施された。知的

子供たちということもあり、子供一人に対して大人三人が対応し、安全面を徹底的に重視しながら、サーフィンを



教えるというよりは、海で楽しんでもらうことを目的としている。

本年も8月25日の日曜日に既に開催が決まっている。子供たちの参加費は無料。逆にボランティアスタッフは会費千円を払って参加してもらっている。やってあげるのではなく、ボランティアに参加することで自分が得るものがあるからだ。スタッフの数が限られているため15人しか募集できないが、田原市だけでなく名古屋や近隣の県外からも参加者が来てくれるそうだ。

今後の夢は、子供たちが安全に楽しくサーフィンができるようにキッズエリアを創ること。外国では子供が波にのるうとしていたら譲るのは当たり前前のこと。日本ではまだまだそういう慣習もなく、教えて子供専用エリアが欲しい。そうすることで子供たちが安全に楽しくサーフィンができ、子供たちのサーフィン人口が増えることに繋がると思う。



田原市民の皆さんと、もっと海に親しんできれいな海にしたい。と願っている。

取材協力・田原市サーフィン協会
スクール担当 瓜生陽一(敬称略)

★池の浄化作業

昨年11月には、外来魚の「ブラックバス」・「ブルーギル」を駆除することと池の水を浄化するために、上池の『池干し』を実施しました。本年もう一度上池の池干しを夏に実施して、外来魚の根絶を目指します。



池の水抜き1日目



6日目



13日目



外来魚の駆除作業



ブルーギル 120kg



ブラックバス 4~5匹

★サクラの管理

滝頭公園の桜の種類は、「ヒガンザクラ」「八重ザクラ」「オオシマザクラ」「ヤマザクラ」「ソメイヨシノ」「カワヅザクラ」などが、およそ1000本ほど植樹し、そのサクラの管理をしています。



アドベンチャー広場

多目的広場

野球場

滝頭公園センターハウス

親水広場



滝頭下池



★秋には紅葉も楽しめます。



★御籠堂の屋根の張替作業

平成19年から20年にかけて、滝頭公園にある「御籠堂の屋根の張り替え」を実施しました。

以前は瓦だったため、非常に重く耐震の基準を満たすために銅板に張り替え、大変きれいになりました。



★こいのぼりの設置・会場準備作業

「桜まつり」から5月5日の子供の日の間、滝頭公園の下池と親水広場周辺に「こいのぼり」が泳ぎ、桜見物に訪れる方々も楽しめます。下池・親水広場・庄司川に百匹を超える「こいのぼり」が風を受けて泳いでいる姿は、桜の花と相俟って、すばらしい風景を満喫できます。



滝頭公園 見どころマップ

●滝頭公園って？

滝頭公園には、野球場・多目的広場・テニスコートなどの運動施設、子供たちの遊び場としてのアドベンチャー広場、バーベキューの出来るキャンプ場があります。桜の季節は特に有名ですが、1年中トレッキングやウォーキングで人気があり、毎年新たに桜の木の植樹をして益々素晴らしい桜の名所となっています。

●田原区って？

田原区は田原市民にとっていつまでも懐かしく、大切な風景である「蔵王山」「衣笠山」「滝頭山」を中心に、190町歩190haの土地を管理しています。明治時代には既に田原区として活動していましたが、大正12年に区の代表機関として区議会が設置されてからでも現在まで、90年近く山や土地を護ってきました。一言で山を護ると言っても山林を保育するためには植林・下草刈り・間伐等何十年もかかる作業ばかり。また、平成18年からは田原市から委託を受け、指定管理者として田原区が滝頭公園を管理しています。

●どんな事をしているの？

公園内の管理は非常に重要です。どんな事をしているのか田原区の皆さんにお会いしてきました。

★昨年春には衣笠山でオオトビモンシャチホコというガの幼虫が大発生したため、特にウバメガシの葉が食害にあいました。多くの木が枯れてしまうのではないかと心配でしたが、なんとか大被害は免れたそうです。この様に自然が相手ということもあり森林を護って育てることは苦勞が絶えません。

★山以外では、旧田原町内にある多くの墓地の管理をしています。現在、「二つ坂霊園」と「ぽっくり地蔵」の整備に取り組んでいます。

●今後の取組みはありますか？

田原市民にとって、大切な憩いの場所として、何十年先、何百年先まで山を護り土地を護っていきたく思います。そして滝頭公園をきれいに整備し、市民・県内外から訪れる方々が安全で、安心して、気持ちよく利用していただける公園にしていきたいと思ひます。



『夜の憩いの場

は手打ちうどんで』



File No.12

三ぶく～2代目～

つちやあつし
土屋 篤司さん

プロフィール

1985年生まれ、田原町汐見育ち。
豊橋調理師専門学校を卒業後、シーパレスリゾートにて修業の後、家業である「三ぶく」を継ぐ。



3年前、赤羽根でサーフィンロングボードの世界大会が開催され、出場するも世界のレベルの凄さを体感し挫折感を味わう。そして料理のプロとなり家業を継ぐことを決意する。三ぶくの2代目となった土屋さんは、昨年3月に居酒屋『三ぶくナイト』をオープンさせた。

三ぶくナイトとは、毎週金・土曜日のみの営業で、午後9時30分から。土曜日のみの営業で、午後9時30分から。

「三ぶく」は、田原町汐見に店を構え、創業33年を迎える。お父様が手打ちにこだわり、愛され続けた「うどん屋さん」だ。土屋さんは中学校卒業後、豊橋調理師専門学校に進学し、1年間調理を勉強。その後シーパレスリゾートに住み込みで2年間修業の後、家業である「三ぶく」を手伝う。しかしプロサーファーになるのが夢だったこともあり、昼間サーフィンをする為に夜からの仕事が都合が良く、居酒屋に就職。昼間はサーフィンを満喫しプロサーファーを目指すことに。

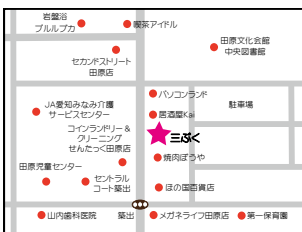
3年前、赤羽根でサーフィンロングボードの世界大会が開催され、出場するも世界のレベルの凄さを体感し挫折感を味わう。そして料理のプロとなり家業を継ぐことを決意する。三ぶくの2代目となった土屋さんは、昨年3月に居酒屋『三ぶくナイト』をオープンさせた。



「手打ちのうどん・そば」を目標として語ってくれた。

地域との繋がりは、中学生の時から「田原まつり」に参加し、地区の消防団にも加わり活動している。地元のまつりやイベントに参加することで、地域の方々と繋がりができ、いろいろな年代の友人ができたそうだ。今後は、お客様ともっと深い繋がりを持つために、「お花見」や「バーベキュー大会」といったイベントを企画し、『地元の憩いの場』となることを目指したいと語ってくれた。

三ぶくナイトを始めて、明け方まで仕事をした次の日も、午前中から仕事のため、寝不足になるのが辛い、「常連のお客様が楽しみに来店され、新しいお客様も立ち寄ってくれる事がとてもうれしく頑張れる。」という。



三ぶく
〒413-0215 田原市田原町汐見 15
☎ 0531-22-6153
🕒 11:00-15:30
17:00-20:30
21:30- (三ぶくナイト)
毎週火曜日 10台

